

(この学年通信は保護者の方にも見せましょう)

学校が再開して...

学校再開から1ヶ月が経ちました。生徒の皆さんは、本格的な授業がスタートして部活動にも参加するようになり、疲れが溜まってきている頃なのではないでしょうか。同じ中学や部活動の仲間とはともかく、クラスメイトとは直接交流する機会がまだ多いとは言えない状況で、緊張感を持って生活している生徒も少なからず見受けられます。1年間同じ空間で過ごしていく仲間たちですから、是非周囲を見渡し、自分自身の目や耳、声などを使って、オン

ライン上ではわからないその人の人柄に触れてください。

分散登校中の6月8～11日にはクラス担任との二者面談を実施し、近況報告や今後の学校生活にあたっての確認等を行いました。また、通常登校が再開した6月22日には4月に行う予定だった学年全体でのオリエンテーションを行いました。ここでは、保護者の方にもご理解いただきたいところを3点確認しておきます。

1点目は成績評価における中学校との違いです。高校では授業にしっかりと参加することで単位の「履修」が認められ、その上で授業内容がきちんと身につけていることが確認されて初めて単位の「修得」が認定されます。1科目でも「修得」が認められないと「原級留置」となり、進級することができません。2点目は生徒指導上の注意点です。ルールがあるということは、それを守ることができない人がいるということと同義です。例えば、庄和高校では校内での携帯電話の使用を許可しておりませんが、これは裏を返すと適正に携帯電話を使用することができない人がいるため、制限を設けているということになります。ルールが設けられている背景を押し量りながら、そのルールを減らせる学年を目指しましょう。3点目は進路決定の仕方についてです。高校を卒業してからの進路は大学・専門学校・就職など、実に多種多様です。また、自分が人生をどのように生きていきたいかという問題にも直結します。そこで生徒に求めたいのは、「自分ならどうする?」という問答を自分に課すことです。この自問自答を繰り返すことで、社会の一員としてどんな形で世の中に貢献したいのかが見えてきます。

1学期は残り1ヶ月。初めての定期考査も迫っていますので、今自分ができること・すべきことに精一杯取り組んでいってください。



進路講演会

生徒の皆さんは、これからあらゆる機会で自分の人生について考えていくこととなります。まず分岐点となるのが、高校を卒業したら進学するのか就職するのかというところだと思います。いずれにしても、入試や就職試験の際には志望動機と自己PRが問われます。これらを語るためには高校生活で身につけておくべきとされる生活習慣が欠かせません。そこで、6月25日の総合的な探究の時間に教育通信社の江口隆司様をお招きし、進路講演会を開催しました。今回は進学先または就職先に対して自己PRできるような高校生活を送るために必要なこととお話いただきました。ポイントは大きく分けて3つです。



1つ目は出欠に関わることです。社会では遅刻や欠席をしないことを前提として物事が進んでいきます。遅刻や理由のない欠席が続くと人からの信用を得ることができません。学生時代に休み癖・怠け癖がついてしまうとなかなか改善することができませんので、毎日出席することを当たり前に行きましょう。2つ目は学習面で、その中で最も印象的だったのは「勉強嫌いでは社会に通用しない」という言葉です。勉強が嫌いだと言って避け続けていると、後に「仕事が覚えられない」「上司の指示が理解できない」といった壁に突き当たります。こういった事態を避けるためにも、毎日の授業で苦手なことにも向き合うトレーニングをする必要があるということです。3つ目は部活動についてです。部活動をやり抜いた人に期待される資質として「精神力・体力・協調性・素直さ・忍耐力・挨拶ができる」の6項目が挙げられます。これらは簡単に身につくものではありませんが、社会人として働く上で重要視される力です。様々な経験の中で多くの人と接しながら、自分を磨いていってください。

与えられた時間は平等ですが、その過ごし方によって3年後の姿は全く変わってきます。自分の10年先の姿をイメージして、皆さんが日々努力していくことを期待しています。

7月の予定

- 2～8日 50分×4時間授業／p.m.保護者面談
- 6日(月) 代休(7月4日分)
- 22日(水) 期末考査① ※以降、昼食は必要なし
- 27日(月) 期末考査②
- 28日(火) 期末考査③
- 31日(金) LHR・大掃除・終業式

※8月1日～夏季休業

2学期当初の予定

- 8月25日(火) 始業式・整容検査
- 26日(水) 実力テスト・英検IBAテスト
- 9月1～4日 50分×4時間授業／p.m.生徒面談